



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail:zennancho@zennancho.or.jp

↑ 平成27年度 第4回理事会開催 (2月13日)

平成27年度最後の理事会は、次年度の事業計画に関する議案を討議します。

第4回理事会では、すでにおなじみになった光景ですが、理事の他に専門部長の列席も求めて、意見交換を行いました。

昨年同様、全難聴が28年度に対処すべき「対外的課題」「対内的課題」について新谷理事長から提案がありました。

3年後見直しの議論が終了した障害者総合支援法の今後について報告があり、地域生活支援の展望と、意思疎通支援の現在行われている議論についても説明がありました。

障害者差別解消法はパブリックコメントの募集が終了し、各省庁の対応指針、対応要領が固まりつつあります。それぞれに全難聴は、コメントを出しています。

昨年度も含めて、全難聴が継続的に訴え続けているデシベルダウン運動は、早急な改定は難しいという政府回答に対し、国際基準と日本の基準の落差を指摘して対応を求めています。また、この問題点に関しては、障害者権利条約の政府報告に結びつけた指摘も同時に行っています。

「障害者権利条約第1回日本政府報告に関する意見募集」には上記を踏まえた意見提出を行いました。全文は全難聴ホームページ「中央対策」に公開されています。

「対内的課題」としては理事、専門部の役割と活性化に加えて、全難聴の組織強化と財務体質の改善があげられました。これらは、昨年度からの継続課題として精力的に取り組む必要性が提起されました。

28年度開催の福祉大会は、奈良県で開催されます。大会のプログラムについて議論が行なわれ、分科会の概要、担当部署が決定しました。詳細は今後の福祉大会の案内でお知らせします。また、毎年各地で開催している「要約筆記事業研修会」を28年度は東京開催とすることが決定しました。2017年1月8日、9日に東京都新宿区戸山サンライズで開催します。

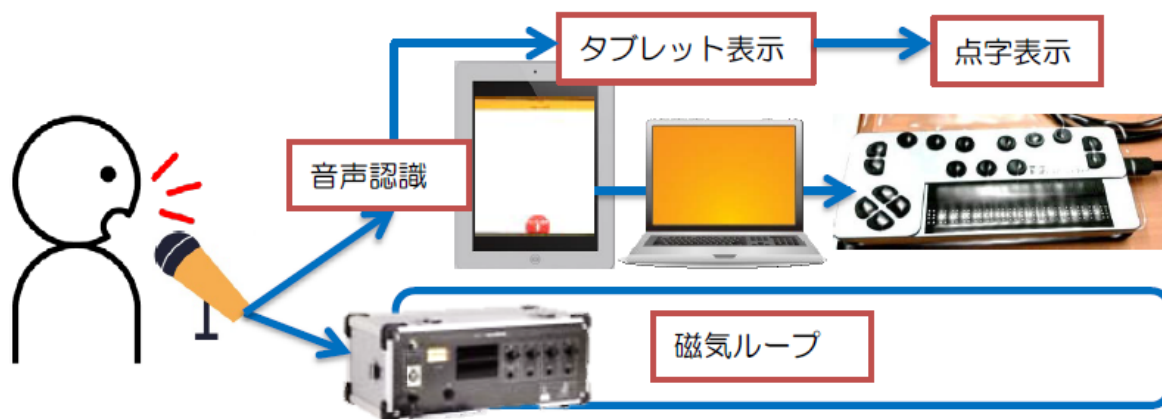
要約筆記以外の各専門部からも次年度の方針が発表されましたが、特に今年度は国際難聴者会議がアメリカはワシントン DC で開催されることから、関係各位への働きかけを含めた方針が確認されました。ツアーの概要など詳細の告知、募集開始についても瀬谷部長から報告がありました。

この他の事業で特筆すべきことは、「刊行物発行事業」で、難聴者支援に結びつくような書籍の出版を目指します。

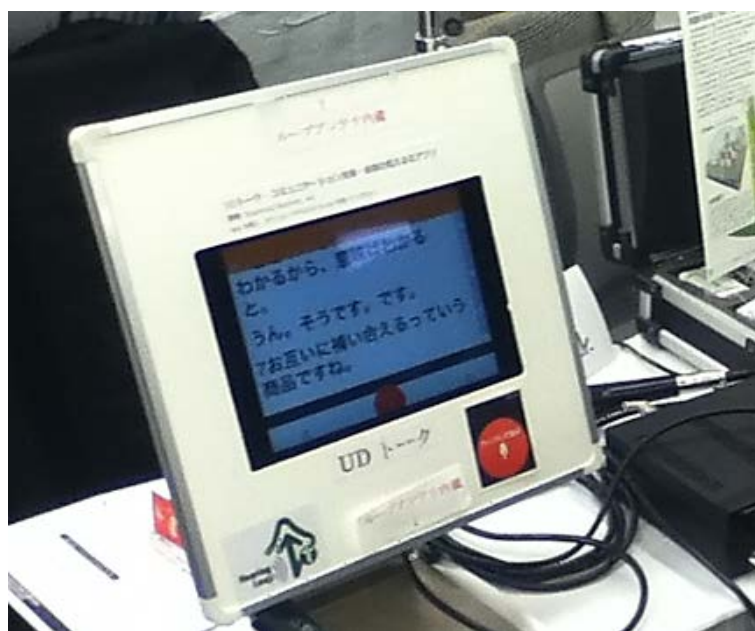
以上、審議のうえ平成28年度事業計画・予算案は承認されました。

📌 シーズ・ニーズマッチング交流会2016開催（2月12日）

厚生労働省が進める「障害者自立支援機器等開発促進事業（シーズ・ニーズマッチング強化促進事業）」交流会が今年も東京有明 TOC で開催されました。障害者のニーズと開発者のシーズ（種）がマッチングするようという目的です。今年度は大阪と東京の2ヶ所で開催され、東京会場には66社が出店しました。全難聴は、川井理事がコーディネーターとなり、難聴支援機器に関して、当事者、企業、関係省庁の窓口として対応にあたりました。



今年のテーマは「コラボレーション」です。



昨年は、それぞれのブースで個別に自社開発の製品を展示していましたが、今年は可能な範囲で製品同士を結合させて提案をしました。

左は、磁気ループの卓上アンテナパネルの中央部分にタブレットを設置し、UDトークを起動しています。

マイクで入力された音声信号は、磁気ループでも文字でも表示されることになり、利用者の特性に応じた情報保障を選択できます。展示ではソナールの磁気ループ、UDトーク、そして音声入力にJumpersのグループトークのマイクを利用して一つの入力を多様な情報保障に変換しました。

文字表示だけにとどまらずUDトークの文字をブライルセンス（点字表示機）に流す例も提案しました。

左は毎日新聞の全盲の記者である岩下恭士記者がUDトークから点字表示機に出力された情報を確認しているところです。



※以下川井理事より今回の交流会についてのコメントです。

過去 3 回実施した、音声認識関係分科会で実施した要望アンケートを機関誌の情報文化部のページ(171号)に示している。要望の高い物から実現を目指したい。今回 UD トークの中心にコラボを展示でしたが、コミュニケーションに関する機器開発の質的向上を図り、より洗練されたコミュニケーション機器開発を図るため、シーズを持つ企業へ参加を呼び掛けたい。

(理事、情報文化部副部長 川井節夫)

📌 国際難聴者会議参加ツアー募集開始

JTB と全難聴が共同企画しました、国際難聴者会議参加ツアーの募集を開始しました。

詳細及び、大会プログラム、申込書などは、全難聴 HP に掲載されています。また、各加盟協会あてには JTB より直接案内が送付されます。

第 10 回国際難聴者会議参加ツアーIN アメリカ・ワシントン

日程：2016年6月21日(火)～2016年6月27日(月) 5泊7日

◆旅行代金：大人一人様 359,000 円(ツイン2名1室利用)

※会議参加には参加登録費用が必要です。本ツアー料金には含まれていません。

※別途燃油サーチャージ、空港諸税、空港施設使用料、旅客保安サービス料が必要となり合計で 25,680 円です。

(2016年1月30日現在の概算：2月現時点で航空会社より燃油サーチャージなしの案内が出ていますが、6月の状況次第で必要な場合もあります。)

◆添乗員：1名同行。

◆要約筆記者及び、言語通訳者(会期中)同行。

◆利用航空会社：全日本空輸・エコノミークラス

◆利用ホテル：ワシントンヒルトン(ツイン2名1室利用)

◆募集人数：50名様(最少催行人員30名様)

◆募集締切：2016年4月30日(木)

大会のメインの基調講演では、マイクロソフト障害者雇用の責任者で自身も難聴者である **Jenny Lay-Flurrie** さんが登壇します。

彼女は、2014年にホワイトハウスで「Champion of Change.」の称号を与えられました。

第10回 国際難聴者会議参加ツアー IN アメリカ合衆国(ワシントン)

主催：国際難聴者連盟

【旅行期間】

日程：2016年6月21日(火)～2016年6月27日(月) 5泊7日

【会場】

ワシントンヒルトン(アメリカ合衆国 ワシントン ホテル内)



<アメリカ合衆国議会議事堂>

⇧ 理事及び専門部長の動き（2/1～2/29）

- 2月2日 情報通信総合研究所インタビュー（新谷）
- 2月5日 衆参両院対応要領に関するヒアリング（新谷）
- 2月8日 会計事務所と打ち合わせ（新谷）
- 2月9日 119番通報の多様化に関する検討会（小川）
- 2月9日 第4回字幕ガイドライン標準化委員会（新谷）
- 2月12日 シーズ・ニーズマッチング交流会（川井、新谷）
- 2月13日 H27年度第4回理事会（理事、専門部長）
- 2月16日 JDF幹事会（新谷）
- 2月16日 テクノエイド「補聴器協議会」審査部会（佐野）
- 2月23日 新国立競技場ユニバーサルデザイン第1回ワークショップ（新谷）
- 2月24日 テクノエイド「補聴器協議会」（佐野）

⇧ 事務局報告

- 2月2日 情報通信総合研究所インタビュー
- 2月3日～ 全難聴事務局サーバー変更作業
- 2月8日 会計事務所と打ち合わせ
- 2月12日 シーズ・ニーズマッチング交流会
- 2月13日 H27年度第4回理事会
- 2月21日 全国統一要約筆記者認定試験
- 2月27日 全難聴だより No. 93 発行予定

《予定》

- 3月1日 情報コミュニケーション4団体連絡会
- 3月5日～6日 耳の日関連行事（各地で）
- 3月9日 自民党政務調査会ヒアリング
- 3月9日 JDF東日本大震災被災障害者総合支援本部 第五次報告会
- 3月14日 第2回シーズ・ニーズマッチング強化検討会議
- 3月15日 JDF幹事会
- 3月15日 オリパラ第7回構造物・住設機器作業部会
- 3月22日 日身連第2回定例評議員会
- 3月31日 機関誌「難聴者の明日」発行
- 3月31日 全難聴だより No. 94 発行予定

障害者権利条約国内発効日にイエローライトアップ

2014年に日本国内で障害者権利条約が発行した日である2月19日を記念して、各地でシンボルカラーである黄色にライトアップされるイベントが行なわれました。

東京では、お台場のフジテレビ社屋、東京ゲイトブリッジが黄色に彩られました。

画像は、同日にライトアップされた陸前高田市の「奇跡の一本松」です。（陸前高田 facebook より）

